

沖繩戦国

全14部

丸木位里 まるき いらり

丸木俊 まるき とし

このことは
《かたち》に
残しておかには
いかん

監督・撮影 河邑厚徳

ナレーション ジョン・カピラ / 山根基世

出演 新垣成世 / 平仲雅菜 / 石川文洋 / 島袋由美子 / 平良修 / 平良悦美 / 山城博明 / 吉川嘉勝 / 真喜志好一 / 佐喜真道夫 / 丸木ひさ子 / 本橋成一 / 岡村幸直 / 知花昌一 / 金城実 / 山内徳信

音楽監督: 尾上 政幸 編集: 菊尾 明子 作曲: 川田 俊介 助監督: 佐喜真淳 製作: 佐喜真道夫

資料リサーチ: 上間 かな恵 CG制作: 中村 照雄 配給: 海燕社 アルミード

2023年 / 88分 / 16:9 / 日本 / ドキュメンタリー

写真: 本橋 成一

美しければ美しいほど、やさしければやさしいほど、 沖縄の惨劇は胸をえぐる

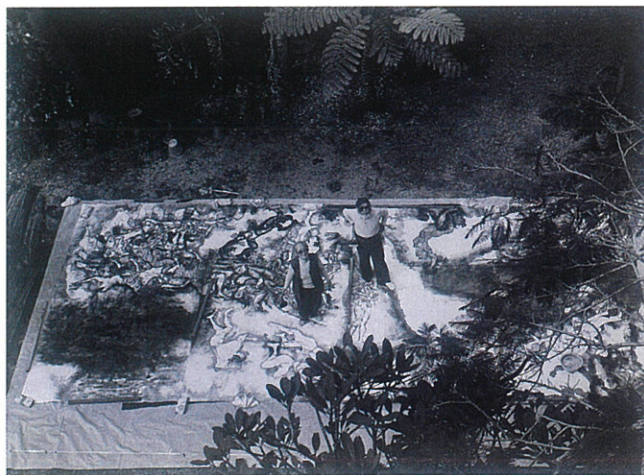
丸木 俊

広島・長崎の核爆発の凄絶さを《原爆の図》15部に描きつづけた丸木位里・丸木俊が、晩年に取組んだのが地上戦を体験した沖縄戦だった。

「沖縄はどう考えても今度の戦争で一番大変なことがおこつる。原爆をかき、南京大虐殺をかき、アウシュビッツをかいたが、沖縄を描くことが一番戦争を描いたことになる」(位里)

「戦争というものを、簡単に考えてはいけません。一番大事なことがかくされて来た、このことを知り深く掘り下げて考えなければなりません」(俊)

このドキュメンタリーは、全14部をすべて紹介する初めての試みである。地上戦を生き延びた沖縄の人びとの切実な「命どう宝(命こそ宝)」に共感共苦した、丸木夫妻の「人間といのち」への深い鎮魂と洞察の軌跡をたどる物語である。



写真：石川文洋

【沖縄戦の図全14部】

1982～87年、丸木夫妻は沖縄に通い続け、地上戦の「現場」に立ちながら沖縄戦を連作14部に描いた。ふたりは、沖縄島や近隣諸島をめぐり、体験者の話に全身全霊を傾け、沖縄に関連する160冊以上の本を読み、研究者を訪ねた。戦後78年、いまなお癒えることのない戦争の心の傷から絞り出すように語られた証言に〈かたち〉を与えていった。

全14部は、宜野湾市の佐喜真美術館にすべて収蔵されている。



写真：本橋成一

まるき いり
丸木 位里

(広島県生まれ 1901-1995)

まるき とし
丸木 俊

(北海道生まれ 1912-2000)

広島・長崎に投下された原爆による人類未曾有の惨状を共同制作《原爆の図》15部(1950-82)に結実させ、世界に衝撃を与えた。《南京大虐殺の図》《アウシュビッツの図》《水俣の図》等を手掛け、6年をかけて晩年の集大成《沖縄戦の図》全14部を制作。世界平和文化賞(1953年)、ノーベル平和賞ノミネート(1995年)、その他国内外で受賞多数。



沖縄の人びとの願いと
丸木位里・丸木俊の深い思想が会って
《沖縄戦の図》全14部が生まれました。

佐喜真美術館 館長 佐喜真道夫

2023年6月1日(木) - 2024年1月29日(月) 佐喜真美術館にて「沖縄戦の図 全14部展」開催!



監督・撮影：河邑厚徳

音楽監督：尾上政幸 編集：荊尾明子 作曲：川田俊介 助監督：佐喜真淳 製作：佐喜真道夫 資料リサーチ：上間かな恵
CG制作：中村照雄 配給：海燕社 アルミード 2023年/88分/16:9/日本/ドキュメンタリー

© 2023 佐喜真美術館、ルミエール・プラス

9/12^火～24^日 *9/19休館

上映時間 10:30

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館ホール

<https://topmuseum.jp> 03-3280-0099